



秋の気配を感じたのも束の間、昼間でも吹く風が冷たい日があったり、様々な場所でクリスマスイルミネーションが点灯されたり、と一気に冬の到来です。

これから年末に向けて何かと慌ただしくなりますが、体調管理にはくれぐれも気を付けて気持ち良く新年を迎えられるように、残りわずかとなった2014年を過ごしたいものですね。

セレックシステム導入しました

突然ですが

みなさん、受付の**これ**→
気になっていませんか??

これは、最新のテクノロジーを駆使し、コンピュータ制御によって歯の修復物を作製するマシンです。



診療室の廊下にひっそりと(?)佇む**こちら**→

が相棒です。これに搭載された3D光学カメラを使って患者様の患部を撮影(スキャン)し、コンピュータの画面上で修復物を設計します。



このデータをもとに、はじめに紹介したマシンが修復物を作製する…これが**セレックシステム**です。

セレック(CEREC)とは**CE**ramic **RE**Construction (セラミック修復)のことです。

このセレックシステムで作製するのはオールセラミック=金属を使用せずセラミックだけでできたつめものやかぶせものです。



従来から当院で行っているオールセラミック修復はプレスシステムといって、丁寧に採った患部の型をもとに歯科技工士が、患者様にぴったりの色・形にひとつずつ修復物を作製しています。いわば“職人の一点もの”です。

そのためどうしても作製に時間を要したり、高価であることから、審美的にも生体親和性にも優れていることがわかりながらもオールセラミック修復をあきらめた患者様がたくさんいらっしゃると思います。

今回導入したセレックシステムでは修復物を、技工所を通さず院内で機械によって作製するため、従来のプレスシステムよりも比較的安価で、短い治療期間でのオールセラミック修復が可能になりました。

虫歯治療が必要な患者様、昔の銀歯や変色してしまったプラスチックのつめものを白く美しい歯に替えたいとお考えの方、選択肢がひとつ増えましたので、オールセラミック修復もご検討されてみてはいかがでしょうか?

プレス? セレック?

虫歯治療の修復物(つめものやかぶせもの)の材料には、大きく分けて次のようなものがあります。

①金属 ②プラスチック ③セラミック

今回ご紹介したセレックシステムは3つ目のセラミックを使った修復物、その中でも金属を使わないオールセラミックに特化しています。プレスシステムと比べてみても、材料は同じセラミック、治療期間は短く費用も安い…もうオールセラミック=セレックじゃないの?と思われるかもしれません。

しかし当院では、従来のプレスシステム(技工所に発注・歯科技工士による修復物の作製)も併行しています。

なぜでしょうか?

それは、やはりプレスシステムで作製された修復物は“職人の一点もの”だからです。



その精度・強度は、機械による大量生産のブロックから作製されるものよりも、優れていることは間違いありません。



セレックブロック

それぞれの特徴を考慮し、費用や保証内容などの点で差がついています。

ご検討の際には、内容をよくご理解いただけるよう丁寧に説明いたします。気になることはなんでもお尋ねください。